

Informatica Intelligent Data Privacy

メリット

- AI主導のインテリジェントなデータディスカバリとデータ分類
- あらかじめ定義されているポリシー、インテリジェントなデータディスカバリ、リスク分析、改善措置のオーケストレーションにより、データプライバシーリスクを継続的に把握および改善
- ポリシー、関係者、対象データの統合ビューが業務部門とIT部門の効果的なコラボレーションを促進
- データ主体のすべてのデータを正確に関係付けることで、同意と権利の履行と管理を整流化
- 自動データ保護をシミュレートして、予測可能な結果を実現
- データの不正使用と不正アクセスを防止

データプライバシーへのインテリジェントな対応

Informatica® Data Privacyソリューションを導入することで、データを中心にしたプライバシーおよび業界規制へのコンプライアンスを確立して、以下のことを実現できます。

- 規制対象データおよび関連ポリシーを定義して、すべての人、プロセス、システムに適用
- 個人データや機密データの探索、分類、把握
- 顧客や従業員の識別情報と機密データの関連付け
- プライバシーリスクの分析および改善措置の優先付け
- 個人データを保護し、顧客の同意と権利を一元管理することで、プライバシー規制や社内基準を遵守
- オンデマンドのレポート、視覚化、継続的なリスク分析を通じて、法規制へのコンプライアンスを示すとともにポリシーを適用

主な機能

ガバナンスポリシーの定義と管理

Informatica Axon™ Data Governanceで業務部門とIT部門のポリシー、責任、プロセス、データ用語を定義、文書化、測定します。Axonガバナンス タスク フレームワークと視覚的なワークフローにより、重要な業務担当者や関係者と、それぞれが担当するデータやプロセスを特定できます。

個人データと機密データの探索、分類、把握

Informatica Secure@Source®では、CLAIRE™エンジンとインフォマティカのAI機能を活用して、個人データ資産およびメタデータのビューと分析を全社規模で確立できます。これにより、データ環境（マルチクラウド、Hadoop、リレーショナル/ファイルストレージシステム、非構造化データ、構造化データ）を迅速に探索、分類、把握できます。

IDのマッピング

Informatica Secure@Sourceにより、データ主体のレジストリを構築して機密データに関連付けることができます。これにより、どの機密データがどのID（顧客、従業員など）に属しているのかを迅速に把握できます。これはデータ主体のアクセス権をサポートし、同意管理システムに統合されます。

データリスクの分析、保護計画の策定

Informatica Secure@Sourceで個人データのリスクを分析し、カスタマイズ可能なリスク影響モデルを作成することで、改善措置の優先順位を決定し、リソースと投資を効果的に割り当てることができます。リスクを継続的に測定および記録して、プライバシー保護プログラムのための主要リスク指標を獲得できます。

データの保護、データ主体の権利と同意の管理

Informatica Data Maskingで個人データを匿名化／偽名化して、顧客と従業員の個人データのアクセスと表示を制御します。Informatica Master Data Managementにより、リネージ、履歴、データ保持期間を取り込んで文書化することで、データ主体と同意に関する360度ビューを構築して完全かつ一貫した方法でデータ主体の権利をサポートできます。

測定、伝達、監査対応

インフォマティカのAxon Data Governance、Secure@Source、Master Data Managementにより、豊富な視覚化機能で意思決定者をサポートし、プライバシー担当者に詳細なビューを提供できます。また、個人データに関する詳細情報を迅速に提供して、監査要件に対応し、プライバシー保護プログラムを管理および追跡できます。

主なメリット

プライバシーポリシー

ユーザー設定が可能な包括的なプライバシーポリシーを活用して、企業全体のプライバシー対象データを迅速に発見できます。例えば、ブール一致条件と受け入れ閾値を使用して、プライバシーポリシー（GDPR、BCBS 239、HIPAA（米国医療保険の相互運用性と責任に関する法律））の対象となる任意のデータ要素を検索できます。

個人データと機密データの完全なビュー

場所やシステムに関係なく、データ主体に関するすべての個人データと機密データを迅速に特定して、規制対象の個人データに対する360度ビューを迅速に提供します。

IDの関連付けと管理

個人を特定できる情報（住所、電話番号、クレジットカード番号、生年月日など）に関するインテリジェンスを獲得して、どの機密データが、どのIDに関連付けられているかを把握できます。

インフォマティカについて

デジタルトランスフォーメーションによって我々の期待値が変化しています。より良いサービスを、素早く、便利に、低コストで利用したいという期待が高まっています。企業も状況に応じて変化する必要があります。そしてそのヒントは「データ」にあります。

エンタープライズ向けクラウドデータ管理で世界をリードするインフォマティカは、俊敏性を高め、新たな成長機会を実現するだけでなく、新たなイノベーションを生み出すことさえ可能にする将来への洞察力を提供します。インフォマティカは、あらゆるデータを徹底的に重視し、企業の成功に必要とされる汎用性を提供します。

インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

同意管理

コラボレーション環境を通じて、データプライバシーに関する設定や同意を一元管理し、データ主体に権利を付与できます。マスターデータ管理はGDPR同意管理の強力なコンポーネントです。ワークフロー、データ主体の単一ビューの構築、記録/監査/データガバナンスの履歴などのネイティブ機能を備えています。

インテリジェンスと保護

機械学習などのAI技術を活用したInformatica CLAIREエンジンにより、実用性に優れた統合機能の効果を即座に期待できます。ガバナンスとインテリジェンスにより、個人データを特定、探索、分析し、このデータを匿名化（マスキング、暗号化、アーカイブ化、サードパーティ保護（RangerやSentryなど）との統合など）して保護できます。

視覚化

データプライバシー、データ管理、データコンプライアンス、データセキュリティのビューを利用して、複数の関係者とのコミュニケーションやコラボレーションを実現できます。ダッシュボード、豊富なグラフ、ドリルダウン機能により、各部門の業務担当者のニーズに対応できます。

アラートと監視

プライバシー規制へのコンプライアンスを進めていく中で、リスク評価の継続的な監視や境界を越えるデータ移動の把握、ユーザーデータの異常なアクセスや挙動の特定、改善措置の自動オーケストレーションが可能になります。

詳細は[インフォマティカWebサイト](#)で各種資料をご覧ください。インフォマティカまで直接お問い合わせください。

